

平成26年度 緑の交流サロン報告書

(公財)川崎市公園緑地協会では、川崎市内で活動されている方々の、団体間の交流や情報の交換を行い、課題の解決や活動団体間の連携に繋げていくことを目的として平成23年から「緑の交流サロン」を開催してきました。過去3年間のサロンでは、活動団体間での交流を目的とした意見交換会を行い、日頃の活動や困っていること、楽しみにしていることなどを話していただきました。

4年目を向かえる平成26年のサロンでは、第1回と3回に「花壇づくり」、第2回に「里山保全」をテーマとして設定し、講演、専門家への質問会、クラフト制作、ティーパーティーを通してそれぞれの団体の交流を図り、団体が抱える課題解決の方策や活動に生かせるアイデアなどワークショップ形式で話し合っていました。

サロンスケジュール

- ① 開会の挨拶、スタッフ紹介
- ② 参加者紹介
- ③ 講師のお話
- ④ 質問コーナー (第1回) 休憩
- ④ クラフト教室 (第2、3回) 休憩
- ⑤ ティーパーティー
- ⑥ まとめ
- ⑦ 閉会の挨拶

講師を務めていただいたお二人



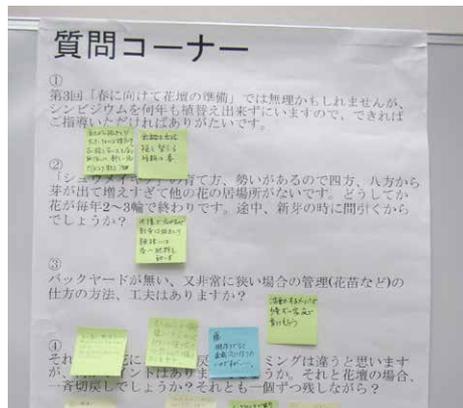
企業における緑の社会貢献事業のサポート、都立公園におけるボランティア育成講座などに取り組んおられる、NPO法人Green Worksの牧野ふみよさん、NPO法人日本の竹ファンクラブで理事・事務局をつとめ、市民による竹林の保全と活用を普及・実践する活動に関わっておられる根岸秀行さんに講師を務めていただきました。



	テーマ	参加者数	日時	場所
第1回	花壇づくり	20団体 (43名)	平成26年9月19日 (金)	川崎市総合自治会館 第一会議室
第2回	里山保全	20団体 (31名)	平成26年11月20日 (木)	川崎市総合自治会館 第一会議室
第3回	花壇づくり	16団体 (31名)	平成26年12月5日 (金)	川崎市総合自治会館 第一会議室



ハーブティーパーティー



専門家への質問コーナー



間伐材を使ったクラフト教室



サロンの様子

第1回 緑の交流サロン



第2回 緑の交流サロン



第3回 緑の交流サロン



なぜ活動をするの？ 活動をすることの利点

花壇づくり活動における利点

NPO 法人 Green Works 牧野ふみよさんのお話

大岡山駅前花壇、フェリーチェガーデン日比谷テラスガーデン等における植栽を手がける。



コミュニティガーデンで「地域の庭」をつくる。

- ・みんなの意見や希望をまとめて庭作りをするので、住民同士の顔が見える町が生まれる。
- ・住民同士の交流が深まることで地域の防犯や活性化へつながる。
- ・「ガーデニングをやりたい！」という人々への励ましへとつながる。
- ・ガーデニング好きな仲間と一緒に活動することで、視野を広げることができる。

里山保全活動における利点

NPO 法人日本の竹ファンクラブ根岸秀行さんのお話

小机城址市民の森、こどもの国等にて竹林整備を行う。



荒れている竹林を美しく、ワクワクする交流の場所にする。

- ・手入れをすると同時に色々な竹のイベントを開催する。きれいな竹林に生まれ変わると同時に、地域の人にとってワクワクするような場所となる。
- ・イベント時には竹林の近隣住民や地元企業の社員が手伝いに来てくれたりするなど、地域交流につながる。

詳細は、ヒント集をご覧ください。



本年度も多くの方にご参加いただき、楽しく交流ができました。

平成27年度も開催する予定です。みなさん是非ご参加ください。

